

わかやまをつくり守っています。

# わかやまの建設

道路やトンネル、ダム、橋などを作り、災害をふせぐ「土木の仕事」と、工場やマンション、大型スーパーなどをつくる「建築の仕事」。わたしたちの安全で便利なくらしを支えているこの2つの仕事をあわせて「建設の仕事」といいます。いつも歩く道、わたる橋、海や川の水をせき止めるダムや堤防、学校や図書館・病院など、あたり前のようにあるものばかりだけど、実は全部「建設」の力でできているんです。

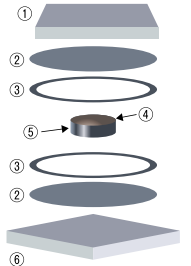
## 第7回

### 地震に強い 田辺市役所

5月に場所を変えて新しくなった田辺市の市役所。木をふんだんに使ったかっこいい見た目が特徴だけど、さらにすごい秘密があるんです！それが、ふりこの原理をいかした最新の「免震装置」。地震のエネルギーを逃してゆれを小さくすることができる装置が建物を支える54本の柱についていて、最大で約65cm、震度7のゆれからも建物を守れるんです。

#### 免震装置の仕組み

- ①上部コンクリートプレート
- ②すべり板【復元機能】  
球面の曲率半径により免震層の固有周期を決定  
外径寸法により限界変形を決定
- ③ストッパーリング
- ④すべり材【減衰機能】  
すべり在とすべり板間の摩擦で地震エネルギーを吸収
- ⑤スライダ【支承機能】  
鋼材の面圧で建物荷重を支持
- ⑥下部コンクリートプレート



装置の中は、お皿のような「すべり板」で真ん中の「すべり材」をはさんで、ゆれてもまた元にもどる仕組みになっています。この装置が場所によって大きさや高さの違う6種類あるんです。

装置が動いたときに建物が回りこぶつからないよう、つながった部分の床が動くようになっていたり、花だんと建物の間が溝になっていたりします。

鉄でできた装置は火に弱いので、外側は火事の時に火がまわらないように燃えにくく、熱を感じるとふくらむ耐火材で守っています。

## こんなこと知ってる!?

### 5つの柱のヒミツ

平成17年に5つの市町村が集まってできた今の田辺市。新しい市役所ではもともとの市町村だった「田辺市」「龍神村」「中辺路町」「大塔村」「本宮町」の5つのエリアから切り出したスギの木をルーバーをシンボルとして飾っています。その一部は工事が始まってすぐのころに真砂市長が山に足を運んで切ったもの。他にも建物全体に和歌山の木「紀州材」をたくさん使用。その姿は、世界遺産「熊野古道」をイメージしています。



## この人に聞きました



見えないけれど、建物は基礎が一番大事。建物を見たときに、その下に大きな基礎があることを感じてほしいですね！

なが た けん  
長田 健さん  
田辺市立田辺第三小学校卒

### 「いろんなことを考えて作っています」

建築は自分の仕事が証拠として形に残っていくので、いつも責任感を感じています。大きな地震が来たときに万が一そこだけが被害があったら顔向けできませんから。工事が始まると毎日スムーズに作業が進むよういろんなことを考えます。だからこそ、完成した後にいろんな人が使ってくれて、喜んでくれているのを見ることがうれしいですね。

## プレゼントコーナー

和歌山県建設業協会さんから建設学習帳をプレゼント。

担任の先生にお願いして、クラス全員の数で申しこんでもらってください。  
(ご担任の先生、よろしくお願ひいたします。)  
※部数に限りがありますので、お申込多数の場合は先着順とさせていただきます。



【申込方法】  
「学校名・クラス名・冊数、住所」をファックスください。  
Fax.073-446-8881  
白光印刷株式会社まで。

新しくなって、さらに安心・納得！  
社員と家族、会社を守る為に。

## 建設共済保険

法定外労災補償制度

割戻金の支払いが始まっています。

公益財団法人 建設業福祉共済団

手厚い補償  
保険金区分合計  
最高5,000万円

契約者  
割戻金制度  
により  
掛金負担が軽減

労働者と企業の  
リスクを  
カバー

今すぐ、  
ご加入を！

一般社団法人和歌山県建設業協会は「わかやま探検ミュージアム」を応援しています。

一般社団法人 和歌山県建設業協会

〒640-8262 和歌山市湊通北1丁目1-8  
和歌山県建設会館 1F

True Construction Works 知ってほしい、本当の建設業を！

